

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

光彩館を活用した教育活動——和室「清心庵」を例に——

●志木高等学校 教諭

池田卓也
いけだたくや

志木高等学校では、昨年2月に開設75年記念事業の目玉

茶人松永耳庵（安左エ門）

ゆかりの本校で「茶道の魅力を実感できた」「動作一つ一つに思いが込められ、感心した」「皆と教え合い、共に成長できた」「心構えなど精神面でも学ぶことが多かった」「和の心の本質に少し近づけた」——履修者諸君の感想です。

である多目的棟「光彩館」の竣工式を行いました。大山エンリコイサム氏（本校53期）による壁画を配したエントランスホール、1学年超（約300名）収容の多目的ホール、ハワイエ兼展示ホール、吹奏楽・声楽に対応した音楽室、少人数教育を実現する中・小教室群と、裏千家茶道の規矩に基づく和室（茶室）からなる光彩館は、本校の「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」の舞台となる施設です。

その後、光彩館は昨年4月より供用を開始し、授業や学年行事、収穫祭、クラブ活動、国際交流事業など幅広く活用しています。和室については、主に筆者担当の第3学年次の自由選択科目（詳細は本誌2019 SUMMER [No.303] に既載）で、日本のいわゆる伝統文化、とりわけ茶の湯の実習の場として使用しています。昨年度は割稽古から盆略点前・薄茶点前（風炉）に挑戦し、主客双方の作法を学んだほか、校内の豊かな自然環境を生かし、季節の花を床の間の花入に入れる体験も試みしました（5月には校内のチャノキを用いた茶摘みと製茶体験も楽しめました）。台湾や豪州の留学生を迎えた際には、それぞれ茶の湯体験を実施し、履修者諸君にとっても格好の成果披露の機会となりました。

光彩館を拠点とする今後の志木高の教育活動に、皆さまでどうぞご期待ください。



自由選択科目の履修者諸君（一部）と



扁額除幕の瞬間



茶室披露（大谷裕巳様と有志諸君）

他方、和室をめぐるのは、昨年9月に裏千家の坐忘斎千宗室家元より「清心庵」の庵号と扁額を賜りました。これを記念して、10月19日（土）には有志諸君の手伝いのもと、内々ながら茶室披露を行いました。来賓として、扁額ご寄贈に尽力くださった大谷裕巳様（裏千家今日庵常務理事・塾員）・菅沼安嬉子様（慶應連合三田会前会長）・遠藤彬様（本校12期）、ご愛蔵の茶道具を一括寄贈いただいた岡田征子様・岡田英史常任理事（本校32期）、山下宗枝先生（裏千家教授）、高橋美樹前校長・岡本真治前事務長ほかをお迎えし、共に「清心庵」の門出を祝えたことを大変喜ばしく思います。また、扁額ご寄贈につきましては、大林剛郎様（裏千家今日庵老分・塾員）にもお力添えをいただきました。